

AstraZeneca PLC

2012年第3四半期・9ヵ月累積業績

2012年10月25日ロンドン発

予想通り、第3四半期の売上の減少は、数製品の独占権の喪失の影響が継続していることを反映しています。継続的な営業経費の厳格な管理およびネキシウムのOTC販売権の売却益により、売上減少の中核営業利益に対する影響は軽減されました。通年の財務目標に変更はありません。

第3四半期の売上高は恒常為替レート（CER）ベースで15%減の66億8200万ドル。

-売上減少の要因は数製品の独占権の喪失とアストラテックおよびAptiumの売却

-シムビコート、フェソロデックス、イレッサ、ONGLYZA™の売上は堅調

-新興国市場の売上はCERベースで6%増。第3四半期、中国とロシアの売上は23%増。メキシコの低調な業績の継続により新興市場の売上成長率が2ポイント低下。

第3四半期中核1株当たり利益（EPS）はCERベースで8%減の1.51ドル

-中核EPSは、自己株式の買戻しにより発行済み株式数が減少したことによりプラスの影響を受けました。

第3四半期の報告ベースのEPSはCERベースで50%減の1.22ドル

-昨年第3四半期の報告ベースのEPSにはアストラテックの売却益による1株当たり1.08ドルが含まれていました。

ブリストル・マイヤーズスクイブとの糖尿病関連アライアンスの拡大に伴う手続きは8月8日に完了し、両社の営業チームはAmylinの糖尿病治療薬のプロモーションを米国で10月に開始しました。

本年1月～9月の正味自己株式買戻し総額は23億ドルでした。自己株式買戻しプログラムの中止を10月1日に発表しました。

中核EPSの通年目標は6.00～6.30ドルのレンジを維持

ファイナンシャルサマリー

グループ	第3四半期 2012年100 万ドル	第3四半期 2011年100 万ドル	前年 同期 比%	CER %	9ヵ月 累積 2012 年100万ド ル	9ヵ月 累積 2011 年100万ド ル	前年 同期 比%	CER %
売上高	6,682	8,213	-19	-15	20,691	24,935	-17	-15
報告ベース								
営業利益	2,156	4,262	-49	-47	6,184	10,628	-42	-40
税引前利益	2,048	4,169	-51	-48	5,864	10,315	-43	-41
1株当たり利益	\$1.22	\$2.56	-53	-50	\$3.77	\$6.17	-39	-36
中核*								
営業利益	2,632	3,177	-17	-14	7,898	10,177	-22	-20
税引前利益	2,524	3,084	-18	-15	7,578	9,864	-23	-21
1株当たり利益	\$1.51	\$1.71	-12	-8	\$4.85	\$5.67	-14	-11

* 当社経営陣は当社の業績を理解していただく上で有益であると考えられる、GAAP（一般会計原則）とは異なる補足的な指標として中核財務指標も報告しています。2012年の財務ガイダンスはこの指標に基づいています。中核財務指標の定義および中核と報告ベースの財務指標の調整については2および4ページをご覧ください。2013年第1四半期から使用される中核財務指標の定義へのグループの変更に関する最新情報は6ページをご覧ください。

最高経営責任者パスカル・ソリオの業績に関するコメント：

「予想通り、当社の2012年の財務業績は、主要市場における数製品の独占権失効の影響の継続、および医薬品業界全体が直面する困難な課題を反映しています。アストラゼネカに入社し、社員のコミットメント、才能および熱意、さらに目標達成に向けた決意に深く感銘を受けています。最高経営責任者としての新たな役割を果たしていくにあたり、私の優先事項は当社をサイエンスにおけるリーダーシップを発揮する成長企業へと再建することです。」

営業およびファイナンシャルレビュー

別段の記載がない限り、伸び率はすべて恒常為替レート（CER）ベースおよび中核ベースで示されています。当社の報告ベースの財務情報に加えて提示するこうした指標はGAAP（一般会計原則）とは異なる指標であり、当社グループの進行中のビジネスの基礎的な財務実績やそれにプラスとなるビジネス上の重要な要素をよりよく理解していただく上で有益だと当社経営陣は考えています。中核ベースの財務指標では、当社のグローバルな事業再構築および相乗効果プログラムの費用および引当金、2007年のメディムーン社買収に関連する重要な無形資産の償却および評価減、米国でのメルク社との提携打ち切りに関する取決めやその他の特殊項目といったいくつかの重要項目を除外するよう調整されています。これら調整の性質に関する詳細は、当社のアニュアルレポートの84ページおよび2011年米国証券取引委員会（SEC）への提出書類20-Fに示されています。

第3四半期

1株当たり利益を除く財務上の数字は、すべて100万ドル単位。加重平均株数も100万単位。

	2012年 報告ベース	事業再構築 費用	メルク社 および メディムーン社 償却	無形資産評 価減	法務関連引 当金	2012年 中核 ベース	2011年 中核 ベース	前年 同期比%	CER %
売上高	6,682	-	-	-	-	6,682	8,213	(19)	(15)
売上原価	(1,274)	14	-	-	-	(1,260)	(1,607)	(22)	(14)
売上総利益	5,408	14	-	-	-	5,422	6,606	(18)	(15)
売上比%	80.9%					81.1%	80.4%	+0.7	-0.1
物流費	(90)	-	-	-	-	(90)	(93)	(3)	2
売上比%	1.3%					1.3%	1.1%	-0.2	-0.2
研究開発費	(1,204)	116	-	-	-	(1,088)	(1,150)	(5)	(3)
売上比%	18.0%					16.3%	14.0%	-2.3	-1.9
販売・一般管理費	(2,359)	123	151	-	57	(2,028)	(2,395)	(15)	(12)
売上比%	35.3%					30.3%	29.1%	-1.2	-1.0
その他収入	401	-	15	-	-	416	209	+99	+103
売上比%	6.0%					6.2%	2.5%	+3.7	+3.5
営業利益	2,156	253	166*	-	57	2,632	3,177	(17)	(14)
売上比%	32.3%					39.4%	38.7%	+0.7	+0.3
正味金融費用	(108)	-	-	-	-	(108)	(93)		
税引前利益	2,048	253	166	-	57	2,524	3,084	(18)	(15)
税金	(515)	(70)	(23)*	-	(24)**	(632)	(777)		
税引後利益	1,533	183	143	-	33	1,892	2,307	(18)	(15)
少数株主持分	(8)	-	-	-	-	(8)	(8)		
純利益	1,525	183	143	-	33	1,884	2,299	(18)	(15)
加重平均株式数	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,354		
1株当たり利益	1.22	0.15	0.11	-	0.03	1.51	1.71	(12)	(8)

* 1億6,600万ドルの償却調整費のうちの9,100万ドルは、関連する税調整2,300万ドルを伴うメディムーン社関係の償却調整費です。メルク社関係の償却費は7,500万ドルで、これには税調整は発生しません。

** 当四半期に発生した5,000万ドルの買収関連費には、1,100万ドルの税調整が含まれています。

第3四半期の売上高は、CERベースでは15%減、実質ベースでは為替レート動向のマイナス影響を受けて19%減でした。このうち、主要ブランド数製品の独占権喪失（3月末に喪失したセロクエルIRを含む）による売上減が15%、アストラテックおよびAptiumの売却による売上減が1.8ポイントを占めています。予想通り、スウェーデンの製造工場で新しい全社リソース計画ITシステムを導入したことによる問題の大部分が解決したため、この問題の当四半期の売上への影響は軽微でした。

米国の第3四半期の売上は、セロクエルIRの独占権喪失により19%減でした。セロクエルIRを除いた残りのポートフォリオでの売上は、8月9日から加わったAmylin社の糖尿病ポートフォリオ買収による4,400万ドルの売上高を含むと、約6%増でした。米国の医療保険制度改革による第3四半期売上高へのマイナス影響は、約1億5,000万ドルでした。

ROW（米国以外の地域）の第3四半期の売上は12%減でした。西ヨーロッパの売上は20%減でした。4製品

(セロクエル IR、Atacand、ネキシウム、Merrem) の独占権喪失が、売上減少の 70% を占めました。米国・西ヨーロッパ以外の既成市場の売上は、主にカナダでクレストールや Atacand の後発品との競合により売上が 43% 減少したことが影響し、18% 減でした。新興市場の売上は 6% 増、中国とロシアの売上高は 23% 増でした。ブラジルでは、クレストールとセロクエル IR の独占権喪失による影響がほぼなくなったことにより、売上は微増しました。メキシコで厳しい市場状況から低調な業績が続いたことが影響し、新興市場の売上成長率は 2 ポイント以上減少しました。

第 3 四半期中核売上総利益は、売上の減少に伴い 15% 減でした。売上高に占める中核売上総利益率は、前年同期比 0.1 ポイント減の 81.1% でした。売上に占める好ましくない製品構成と売上比で増額したロイヤリティの支払いは、アストラテックの連結解消と、メルク社との第 2 オプション（注記 6 を参照）の修正により当社の決算報告に関連する総費用が減少したことによる利益により大幅に相殺されました。

第 3 四半期中核販売・一般管理費は、前年同期比 12% 減でした。継続的かつ厳格なコスト管理、事業再構築による経費減及びアストラテックにかかるコストの連結解消により、Amylin 社の糖尿病ポートフォリオに付随して新たに発生した営業・販売費は一部相殺されました。中核販売・一般管理費には、糖尿病関連アライアンスの拡大により発生した 3,200 万ドルの無形資産償却費が含まれます。米国の医療保険制度改革政策により課された物品税は、当四半期の販売・一般管理費の 2.9% に相当しました。

第 3 四半期中核その他収入は 103% 増の 4 億 1,600 万ドルで、これには 2 億 5,000 万ドルのネキシウム OTC 販売権に関するファイザー社との契約による収入が含まれています。

第 3 四半期中核研究開発費控除前営業利益は、11% 減の 37 億 2,000 万ドルでした。中核研究開発費控除前営業利益率は、売上の 55.7% で、前年同期比 2.2 ポイント増でした。これは主に、中核その他収入の増加により、前年同期比 1 ポイント増加した中核販売・一般管理費が一部相殺されたためです。

第 3 四半期中核研究開発費は、3% 減少しました。これは、事業再構築やその他のコスト削減からの費用減が、前年同期より増額したライセンス契約、プロジェクトの取得または提携、無形資産評価減を上回ったためです。

第 3 四半期中核営業利益は、売上が減少したものの、中核その他収入の増加と厳格な営業経費の管理により、14% 減の 26 億 3,200 万ドルでした。中核営業利益率は売上の 39.4% で、前年同期比 0.3 ポイント増でした。

第 3 四半期中核 EPS は 8% 減の 1.51 ドルでした。正味自己株式買戻しの結果、総発行済株式数が減少したことにより中核営業利益の減少より影響が軽微でした。

報告ベースの営業利益は 47% 減の 21 億 5,600 万ドル、報告ベースの EPS は 50% 減の 1.22 ドルでした。中核利益指標の低下と比較して減少幅が大きかったのは、前年計上されたアストラテック売却により生じたその他収入 14 億 8,300 万ドル（1 株あたり 1.08 ドル）によるもので、これは中核財務指標からは除外されています。

9 カ月累積業績

1 株当たり利益を除く財務上の数字は、すべて 100 万ドル単位。加重平均株数も 100 万単位。

	2012年 報告ベース	メルク社および				2012年 中核 ベース	2011年 中核 ベース	前年 同期 比%	CER %
		事業再構築 費用	メディミュン 社償却	無形資産 評価減	法務関連 引当金				
売上高	20,691	-	-	-	-	20,691	24,935	(17)	(15)
売上原価	(3,995)	75	-	-	-	(3,920)	(4,396)	(11)	(9)
売上総利益	16,696	75	-	-	-	16,771	20,539	(18)	(16)
売上比%	80.7%					81.1%	82.4%	-1.3	-1.2
物流費	(241)	-	-	-	-	(241)	(261)	(8)	(4)
売上比%	1.2%					1.2%	1.0%	-0.2	-0.1
研究開発費	(3,923)	697	-	-	-	(3,226)	(3,341)	(3)	(2)
売上比%	19.0%					15.6%	13.4%	-2.2	-2.1
販売・一般管理費	(7,170)	388	384	-	127	(6,271)	(7,372)	(15)	(13)
売上比%	34.6%					30.3%	29.6%	-0.7	-0.7
その他収入	822	-	43	-	-	865	612	41	44
売上比%	4.0%					4.2%	2.4%	+1.8	+1.7
営業利益	6,184	1,160	427*	-	127**	7,898	10,177	(22)	(20)
売上比%	29.9%					38.2%	40.8%	-2.6	-2.4
正味金融費用	(320)	-	-	-	-	(320)	(313)		
税引前利益	5,864	1,160	427	-	127	7,578	9,864	(23)	(21)
税金	(1,071)	(259)	(61)*	-	(28)	(1,419)	(2,031)		
税引後利益	4,793	901	366	-	99	6,159	7,833	(21)	(19)
少数株主持分	(17)	-	-	-	-	(17)	(26)		
純利益	4,776	901	366	-	99	6,142	7,807	(21)	(19)
加重平均株式数	1,266	1,266	1,266	1,266	1,266	1,266	1,377		
1株当たり利益	3.77	0.71	0.29	-	0.08	4.85	5.67	(14)	(11)

* 4億2,700万ドルの償却調整費のうちの2億2,700万ドルは、関連する税調整6,100万ドルを伴うメディミュン社関係の償却調整費です。メルク社関係の償却費は1億5,500万ドルで、これには税調整は発生しません。

** 6,100万ドルの買収関連費が含まれています。

9ヵ月累積の売上は CER ベースで 15%減、実質ベースでは為替レート動向のマイナス影響を受けて 17%減でした。第 3 四半期のハイライトに記載通り、この売上高の減少は、主要ブランド数製品の独占権喪失とアストラテックおよび Aptium の売却によるものです。米国の売上高は 20%減、米国以外の売上高は 11%減でした。

中核売上総利益は売上の 81.1%を占め、2011 年第 1 四半期の PDL BioPharma 社との和解による利益を計上した前年同期比、1.2 ポイント減少しました。

中核販売・一般管理費は、事業再構築による経費減、継続的かつ厳格なコスト管理、アストラテックにかかるコストの解消により、前年同期比 13%減でした。

9ヵ月累積の中核その他収入は、ネキシウムの OTC 販売権売却による収入を反映して、44%増でした。

中核研究開発費控除前営業利益は 15%減の 111 億 2400 万ドルでした。中核研究開発費控除前営業利益率は売上の 53.8%で、0.03 ポイント減でした。売上に占める中核売上原価の増加と中核販売・一般管理費の増加は、中核その他収入の増加で相殺されました。

9ヵ月累積の中核研究開発費は、無形資産評価減と事業開発プロジェクトによる費用が増加しましたが、2%減でした。

9ヵ月累積の中核営業利益は 20%減の 78 億 9,800 万ドルでした。中核営業利益率は売上の 2.4 ポイント減の 38.2%でした。

中核 EPS は前年同期比 11%減の 4.85 ドルでしたが、正味自己株式買戻しと税率の低下により、中核営業利益と比較して減少率は小幅に留まりました。

報告ベースの 9ヵ月累積の営業利益は 40%減の 61 億 8,400 万ドル、報告ベースの EPS は 36%減の 3.77 ドルでした。中核財務指標の低下と比較して減少幅が大きかったのは、2011 年のアストラテックの売却による 14 億 8,300 万ドルの報告ベースのその他収入の利益（中核指標からは除外）とともに、前年同期（5 億 200 万ドル）と比較して、2012 年 9ヵ月累積の事業再構築費用（11 億 6,000 万ドル）が増加したことによるものです。

生産性の向上

2012年2月に発表した事業再構築の第3段階は順調に推移しています。第3四半期に計上した費用は2億5300万ドルで、今年度累計では11億6000万ドルです。プログラムの推定費用総額の21億ドルの大部分を2012年に計上する予定です。

2014年末までに年間16億ドルの費用削減を達成するという目標に向けて、プログラムは予定通り進捗しています。

金融収益・費用

9ヵ月累積の正味金融費用は、2011年の3億1,300万ドルに対し、3億2,000万ドルでした（前年同期9,300万ドルに対し、当四半期1億800万ドル）。9ヵ月累積の公正価値損失と金融派生商品の損失の合計は1,200万ドルで、2011年の9ヵ月累積の公正価値利得は1,200万ドルでした（当四半期400万ドルの損失に対し2011年度は1,800万ドルの利得）。これは、グループの年金制度の正味金融費用の継続的削減により一部相殺されました。

税金

第3四半期における報告ベースの実効税率は25.1%（前年同期16.4%）で、9ヵ月累積では18.3%（前年同期17.4%）でした。9ヵ月累積の実効税率は、以前に開示した、第2四半期中での移転価格問題が良好に解決した後の過去数四半期に関する2億4,000万ドルの調整の利益を受けました。これを除外すると、9ヵ月累積の報告ベースの税率は22.4%で、この税率は営業利益に対する中核課税対象調整に適用されており、9ヵ月累積の中核実効税率は18.7%でした。

通年でのグループの実効税率は20%前後になると予測しています。

前年同期の実効税率は、アストラテックの売却に伴う非課税収入、2002年から2014年末までの期間のアストラゼネカの米国での事業に関する移転価格処理および関連評価案件に関して、英国の歳入関税庁と米国の国税庁が事前価格確認の条件に合意したとする2011年3月の発表に伴う調整により5億2,000万ドルのプラス影響を受けました。これらのプラス影響を除外すると、前年同期の報告ベースの実効税率は26.1%でした。

キャッシュ・フロー

2012年9月30日までの9か月間に営業活動から生じたキャッシュ・フローは、前年同期の47億5,200万ドルに対して、41億ドルでした。納税額の低下と運転資本の改善により、営業利益の減少が一部相殺されました。

投資活動による9ヵ月累積のキャッシュ・アウトフローは、2011年9ヵ月累積のインフロー15億5,800万ドルに対し、13億4,500万ドルでした。本日までの取引活動によるキャッシュ・アウトフローは、アルデア社の買収およびAmylin社を買収したプリストル・マイヤーズスクイブ社との提携に関する無形資産により、48億ドルに達しました。これは、短期投資の売却による36億ドルのキャッシュ・インフローにより一部相殺されました。前年同期には、アストラテックの売却による18億ドルのキャッシュ・インフローが含まれています。

株主への現金配分は、自己株式取得正味額22億7,300万ドルおよび2011年第2回期中配当と2012年第1回期中配当36億6,500万ドルによる59億3,800万ドルでした。

資本と負債の構造

2012年9月30日現在、未払負債残高（有利子負債と借入金）は109億1,300万ドルでした（2011年12月31日現在では93億2,800万ドル）。2012年9月30日現在の未払負債残高のうち、1年以内に返済期限が到来するのは15億6600万ドル（2011年12月31日の時点では19億9,000万ドル）です。

2012年に、当社は二種類の長期債券を発行し、新たに20億ドルの長期借入金を借りました（うち10億ドルは2019年に満期、利子1.95%、残り10億ドルは2042年に満期、利子4.00%）。債券発行による正味収入の19億8,000万ドルのうち17億5,000万ドルは、2012年9月に満期を迎えた債券（利子5.40%）の払戻しと、全般的な事業目的に使用されました。

上記の正味キャッシュ・フローのセクションで説明した正味現金流出の結果、2012年1月1日時点での28億4,900万ドルの正味資金は、2012年9月30日の時点で正味負債ポジション37億6,800万ドルに減少しました。

自己株式の買戻し

2012 年の 9 カ月累積で、当社は、22 億 7,300 万ドルの正味株式買戻しを完了しました。当社グループは、5,780 万株を総額 26 億 3,500 万ドルで買い戻す一方で、株式オプションの行使の対価として 1,050 万株を総額 3 億 6,200 万ドルで発行しました。当社は、自己株式買戻しプログラムの中止を 2012 年 10 月 1 日に発表しました。

2012 年 9 月 30 日現在の総発行済株式数は 12 億 4,500 万株でした。

今後の見通し

9 カ月累積の財務実績は、複数製品（特にセロクエル IR）の独占権喪失の影響、アストラテックおよび Aptium の売却、医薬品業界全体が直面する困難な課題による大きな影響を受けました。事業再構築プログラムによる費用減と、継続的な営業経費の厳格な管理により、事業への再投資の費用を抛出するとともに、中核営業利益と中核営業利益率減少の影響が一部軽減されました。売上と利益率に対する圧力が継続しているものの、既に述べた通り、営業・マーケティング活動においては新製品と成長市場支援する、また、研究開発においては当社のポートフォリオおよび更なる事業開発から導入する価値を創造する新薬候補の開発を前進させるなど、当社の将来の成長を促進するとともに価値を高めるための投資を続けていきます。

当四半期までの業績と第 4 四半期の見通しから、通年の売上は、CER ベースで 10%台の前半から半ばのレンジで減少するものと引き続き予測されます。また、中核 EPS の通年目標も 6.00 ドル～6.30 ドルのレンジで変更はありません。2012 年 9 カ月累積の中核営業利益と中核 EPS には、一度限りの項目が合計で 1 株あたり 0.35 ドル（第 2 四半期の税務案件の解決によるものが 0.19 ドル、第 3 四半期のネキシウムの OTC 販売権売却によるものが 0.16 ドル）含まれています。

この中核EPSガイダンスは当社の主要通貨の 2012 年 1 月における平均為替レートに基づいており、9 カ月累積の実質ベースの中核EPSは、おおむねこの為替の想定に沿ったものでした。この目標には、2012 年末までの平均為替レートが当社の収益ガイダンスが前提としている為替レートから大幅に変動する可能性は考慮されていません。米ドルに対する当社の主要取引通貨の変動によって、売上高や収益が受ける影響度の予想は、2011 年度通年業績発表とともに示されており、当社ウェブサイト（www.astrazeneca.com/investors）で閲覧可能です。

中核財務指標の定義

以前発表した通り、2013 年第 1 四半期業績から、アストラゼネカは、グループが定義を変更した中核財務指標を使用して業績を報告します。変更した定義では、IS に関連した無形固定資産を除く全ての償却費と無形固定資産の償却費と減損を排除します。この件については、2012 年 11 月上旬に、2011 年通年業績と本年 9 カ月累積業績への影響も含め、より詳しくお知らせします。

研究開発の最新情報

当社研究開発パイプラインの総合的な最新情報は、2012 年上半期業績に関連して提供されており、引き続き当社ウェブサイト (www.astrazeneca.com) の投資家向け情報でご覧になれます。

上半期の更新以降のパイプラインの進展は下記を含みます。

ZINFORO®

2012 年 8 月 28 日、アストラゼネカは欧州委員会が複雑性皮膚・軟部組織感染症 (cSSTI) または市中肺炎 (CAP) の成人患者を治療するための新しい静脈注射用セファロスポリン系抗生物質である ZINFORO® (ceftaroline fosamil) の販売を承認したことを発表しました。これにより、ZINFORO®は、重篤かつ治療が困難な複雑性皮膚感染症の原因となるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) に対する有効性が臨床試験で実証された、ヨーロッパで唯一承認されているセファロスポリン単剤治療薬となります。

2012 年 6 月 21 日、欧州委員会は、医薬品委員会 (CHMP) の肯定的見解に従い、EU に加盟する 27 か国および欧州経済領域 (EEA) に参加する 3 か国において承認することを決定しました。

2009 年、Forest Laboratories 社は、米国、カナダ、日本を除く ceftaroline fosamil の世界的独占販売権および共同独占開発権をアストラゼネカに供与しました。Forest 社は、米国にて 2011 年 3 月、TEFLARO®の商標名で同様の適応を取得しています。

アストラゼネカと Ardelyx 社における NHE3 阻害薬プログラムの世界的ライセンス契約

2012 年 10 月 8 日、アストラゼネカと Ardelyx 社は、Ardelyx 社の NHE3 阻害薬プログラムの世界的独占ライセンス契約を締結したことを発表しました。このプログラムには、末期腎不全 (ESRD) と慢性腎臓病 (CKD) の合併症の治療薬として第 II 相試験を控えたリード化合物の RDX5791 が含まれています。NHE3 はナトリウム水素交換輸送体 3 のことで、ナトリウムを腸で吸収する際に不可欠なたんぱく質です。

契約条件に従い、アストラゼネカは、3,500 万ドルの契約一時金、開発マイルストーンの総額 2 億 3,750 万ドル、製品発売に関連したマイルストーンペイメント、ならびに段階的な二桁台のロイヤリティも支払います。アストラゼネカは今後の開発費用を負担し、Ardelyx 社は第 II 相試験を実施する予定です。取引の一環として、Ardelyx 社は、合意された制限の範囲で、米国において共同で製品のコ・プロモーションを行うオプションを有しています。

brodalumab

2012 年 4 月に発表した、アムジェン社と共同で開発中の 5 つのモノクローナル抗体の一つである brodalumab (AMG827) に関し、中等度から重度の乾癬患者を対象とした第 III 相試験の患者登録が開始されました。このプログラムは 3 件の第 III 相試験からなり、brodalumab と ustekinumab との比較、brodalumab と usutekinumab・プラセボの併用との比較、及び brodalumab とプラセボとの比較において治療効果を評価するものです。

売上高

別段の記載がない限り、伸び率はすべて恒常為替レート（CER）。

製品別、地域別のグループ売上高の完全な分析は、注8、9を参照。

	第3四半期		CER %	9ヵ月累積業績		CER %
	2012年 100万ドル	2011年 100万ドル		2012年 100万ドル	2011年 100万ドル	
消化器						
ネキシウム	995	1,089	-6	2,897	3,362	-12
Losec/Prilosec (オメプラール)	189	224	-13	554	698	-19
循環器						
クレストール	1,544	1,659	-3	4,631	4,851	-2
ONGLYZA™	84	59	+42	235	140	+68
BYETTA®	27	-	n/m 意	27	-	n/m 意
BYDUREON®	11	-	n/m 意	11	-	n/m 意
Brilinta/Brilique	24	13	+100	51	16	+244
Atacand	221	364	-34	807	1,104	-23
セロケン/Toprol-XL	230	273	-11	662	750	-9
呼吸器および炎症						
シムビコート	785	755	+11	2,303	2,309	+4
パルミコート	191	185	+7	624	669	-5
オンコロジー						
ゾラデックス	274	304	-5	822	881	-4
アリミデックス	130	176	-22	421	590	-27
カソデックス	111	137	-16	342	408	-15
イレッサ	154	145	+11	451	405	+13
フェソロデックス	167	139	+28	479	397	+25
Caprelsa	7	2	n/m 意	19	4	n/m 意
ニューロサイエンス						
セロクエル						
セロクエル IR	169	1,034	-83	1,200	3,190	-62
セロクエル XR	373	366	+8	1,127	1,092	+7
ゾーミッグ	41	108	-58	143	312	-52
Vimovo	14	10	+50	47	20	+145
感染症・その他						
Synagis	96	108	-11	535	564	-5
Merrem	90	139	-29	290	469	-34
FluMist	145	124	+17	149	127	+17

消化器

- ネキシウムの米国の第3四半期の売上は前年同期比3%増の5億8,600万ドルでした。小売部門の調剤量は10%減少しました。低利益率のメディケイド処方が大幅に減少したため、製品構成が変わり、平均小売価格が上昇しました。ネキシウムの米国の9ヵ月累積の売上は6%減の16億7,500万ドルでした。
- ネキシウムの米国以外の第3四半期の売上は15%減の4億900万ドルでした。西ヨーロッパの売上は、主に後発品の競合の影響を受けて34%減でした。米国・西ヨーロッパ以外の既成市場の売上は、昨年同期の売上に発売在庫を含んでいた日本売上が91%減少したことが影響し、32%減でした。新興市場の売上は、本年のサプライチェーンの問題解決による中国の力強い成長に牽引され、17%増でした。ネキシウムのその他の市場の9ヵ月累積の売上は、19%減の12億2,200万ドルでした。
- Losecの米国以外の第3四半期の売上は13%減の1億8,100万ドルでした。9ヵ月累積の売上は19%減の5億

2,900万ドルでした。

循環器

- クレストールの米国の第3四半期の売上は、11%増の8億3,300万ドルでした。スタンチン製剤の米国の総処方量は、第3四半期に0.9%増加しました。クレストールの総処方量は3.3%減でした。クレストールの総処方需要は、昨年11月に最初に発売されたアトルバスタチン後発品と2012年5月末の180日間の独占期間の満了に伴い参入した多数の後発品により受けた影響から回復しています。昨年と比べ総処方量が微減した主な原因は、昨年はシンバスタチンのラベル変更に伴い、クレストールへの切り替えが発生したことによる処方量の増加が見られたためです。当四半期の処方量は、低利益率のメディケイド処方を追求しないという決断も反映しています。クレストールの米国での9ヵ月累積の売上は3%増の23億200万ドルでした。
- クレストールの米国以外の第3四半期の売上は、2012年4月のカナダでの特許訴訟の和解による独占権喪失を反映して、15%減の7億1100万ドルでした。その結果、第3四半期のカナダでの売上は83%減少しました。カナダを除く米国以外の売上は、新興市場と日本での成長により、2%増加しました。クレストールの米国以外の9ヵ月累積の売上は、7%減の23億2,900万ドルでした。
- ブリストル・マイヤーズスクイブ社との提携から生じる第3四半期のONGLYZA™の提携収入は42%増の8,400万ドルでした。そのうち6,200万ドルは米国、2,200万ドルは米国以外での売上でした。2012年9月の米国のDPP4市場の総処方数のうち、ONGLYZA™のシェアは11.8%でした。KOMBIGLYZE XR™は、フランチャイズに対するシェアの合計をさらに5.9%増の17.7%に拡大し、2011年12月から1.2ポイント増となりました。9ヵ月累計の全世界での提携収入は、2億3,500万ドルでした。数か月以内にヨーロッパでKOMBOGLYZE™(saxagliptinとメトホルミンHCl速放製剤との配合剤)を発売する予定です。
- *Brilinta/Brilique*の全世界の第3四半期の売上は2,400万ドルで、うち1,500万ドルは西ヨーロッパの売上でした。西ヨーロッパの売上のうちその半分近くはドイツが占めており、ドイツでは、*Brilique*がプロトコールに記載されている目標病院において、*Brilique*がプラスグレレルとクロピドグレレルを上回り、初期ACS患者を対象にした抗血小板薬のトップ製品となっています。*Brilique*は小売市場のダイナミックシェア第2位で、経口抗血小板治療薬の9.7%を占めています。
- *Brilinta*の米国の第3四半期の売上は700万ドルで、投薬需要に伴い、流通チャンネルにおける発売在庫が大幅に減少しています。当社は、処方アクセス、プロトコールの採用、およびインターベンションを行う心臓専門医師による製品利用率において着実に前進し続けています。第3四半期の米国の*Brilinta*の総処方量は、2012年第2四半期と比べ55%増加しました。
- *Brilinta/Brilique*の全世界の9ヵ月累積の売上は5,100万ドルでした。
- *Atacand*の米国の第3四半期の売上は5%減の4,200万ドルでした。9ヵ月累積の売上は15%減の1億1,800万ドルでした。
- *Atacand*の米国以外の第3四半期の売上は、38%減の1億7,900万ドルでした。これは主に、独占権を喪失したことにより西ヨーロッパの売上が57%、カナダの売上が32%減少したことが大きく影響したためです。9ヵ月累積の米国以外の売上は、24%減の6億8,900万ドルでした。
- 自社後発品の売上を含む*Toprol-XL*製品レンジの米国での第3四半期の売上は、昨年に3つ目の後発品が発売されたことを受けて小売価格が低下した結果、37%減の7,700万ドルでした。米国の9ヵ月累積の売上は30%減の2億2,200万ドルでした。
- *セロケン*の米国以外の第3四半期の売上は、新興市場の17%増を受けて、10%増の1億5,300万ドルでした。9ヵ月累積の売上は6%増の4億4,000万ドルでした。

呼吸器および炎症

- シムビコート®の米国の売上は前年第3四半期比31%増の2億6,400万ドルでした。シムビコート®の総処方量は、定量配合剤の市場が2%増であったのに対して、12%増でした。定量配合剤の合計処方量に占めるシムビコート®のシェアは、2011年12月から1.2ポイント増加して、2012年9月に21.5%に達しました。新規配合剤治療の新規患者での市場シェアは26.6%です。シムビコート®の米国での9ヵ月累積の売上は21%増の7億3,000万ドルでした。
- シムビコート®の米国以外の第3四半期の売上は、4%増の5億2,100万ドルでした。西ヨーロッパの売上は2%減でした。米国、西ヨーロッパ以外の既成市場の売上では、日本での売上が共同プロモーションパートナーへの製

品出荷調整により 62%増加したことを受けて、21%増加しました。日本市場でのシェアは、今年はじめより 4 ポイント増加しました。新興市場の売上は 7%増でした。シムビコートの米国以外の 9 ヶ月累積の売上は 2%減の 15 億 7,300 万ドルでした。

- パルミコートの米国の第 3 四半期の売上は 17%増の 6,100 万ドルでした。9 ヶ月累積の売上は 19%減の 1 億 7,700 万ドルでした。
- パルミコートの米国以外の第 3 四半期の売上は、中国の売上が 25%増加したことに牽引され、3%増の 1 億 3,000 万ドルでした。パルミコートの米国以外の 9 ヶ月累積の売上は前年比 2%増の 4 億 4,700 万ドルでした。

オンコロジー

- アリミデックスの米国での第 3 四半期の売上は 400 万ドルで、9 ヶ月累積では 1,700 万ドルでした。
- アリミデックスの米国以外の第 3 四半期の売上は、21%減の 1 億 2,600 万ドルでした。西ヨーロッパの同四半期での売上は、独占権を失ったことを反映して 43%減の 2,700 万ドルでした。日本での売上は 4%減少したものの、当四半期における売上の 40%以上を占めています。売上の 40%以上を占めている日本の同四半期での売上は 4%減でした。新興市場での売上は 8%減でした。アリミデックスの米国以外での 9 ヶ月累積の売上は 25%減の 4 億 400 万ドルでした。
- カンデックスの米国以外での第 3 四半期の売上は、15%減の 1 億 1,200 万ドルでした。売上の 60%以上を占めている日本での第 3 四半期の売上は 19%減でした。西ヨーロッパの売上は 28%減でした。新興市場の売上は 3%増でした。カンデックスの米国以外での 9 ヶ月累積の売上は 15%減の 3 億 4,500 万ドルでした。
- イレッサの第 3 四半期の売上は、11%増の 1 億 5,400 万ドルでした。新興市場での売上は 8%増でした。西ヨーロッパでの売上は 18%増でした。日本での売上は 8%増でした。イレッサの全世界での 9 ヶ月累積の売上は 13%増の 4 億 5,100 万ドルでした。
- フェソロデックスの米国での第 3 四半期の売上は 23%増の 8,000 万ドルでした。当四半期における用量増は、500mg レジメンが広く採用され、フェソロデックスを利用した治療を受けている患者が増加したことを反映しています。米国での 9 ヶ月累積の売上は、18%増の 2 億 2,700 万ドルでした。
- フェソロデックスの米国以外での第 3 四半期の売上は 32%増の 8,700 万ドルで、力強い上市後の売上増によりこの増加分の 3 分の 2 を日本が占めています。当四半期の西ヨーロッパの売上高は、フランスでの値下げの影響を反映して 2%増でした。新興市場での売上は 26%増でした米国以外での 9 ヶ月累積の売上は 32%増の 2 億 5,200 万ドルでした。

ニューロサイエンス

- セロクエル IR の米国の当四半期の売上は、2012 年 3 月に独占権を喪失したことを受けて、95%減の 4,100 万ドルでした。9 月 28 日の週で、クエチアピン分子群におけるセロクエル IR の処方シェアは 4.7%に減少しました。セロクエル IR の米国の 9 ヶ月累積の売上は 71%減の 7 億 900 万ドルでした。
- セロクエル XR の米国の当四半期の売上は、主に薬価が上がったことにより 10%増の 2 億 200 万ドルでした。セロクエル XR の総処方量は、米国の非定型抗精神病薬市場の 1%減に対し、8%減でした。セロクエル XR の米国での 9 ヶ月累積の売上は 6%増の 5 億 9,800 万ドルでした。
- セロクエル IR の米国以外の第 3 四半期の売上は 44%減の 1 億 2,800 万ドルで、これは主に西ヨーロッパの売上が 73%減少したことによるものです。米国以外の 9 ヶ月累積のセロクエル IR の売上は 33%減の 4 億 9,100 万ドルでした。
- セロクエル XR の米国以外の第 3 四半期の売上は 6%増の 1 億 7,100 万ドルでした。西ヨーロッパの売上は 1%減でした。これは主に後発品が一部市場で発売されたことによるもので、フランスでの発売後の順調な売上により一部相殺されました。セロクエル XR の売上は、米国・西ヨーロッパ以外の既成市場で 4%増、新興市場で 31%増でした。セロクエル XR の米国以外の 9 ヶ月累積の売上は、前年比 8%増の 5 億 2,900 万ドルでした。
- ゴーミッグの米国の第 3 四半期の売上は 300 万ドルでした。米国の ゴーミッグ販売権は Impax Laboratories 社に導出されており、アストラゼネカの受ける米国での ゴーミッグによる収入は売上としてではなくその他収入として計上しています。ゴーミッグの米国以外の当四半期の売上は、主に西ヨーロッパでの後発品との競合により、38%減の 3,800 万ドルでした。

- Vimovo の第 3 四半期の売上は 1,400 万ドルで、そのうち 400 万ドルが米国、1,000 万ドルが米国以外の売上でした。

感染症・その他

- Synagis の米国の第 3 四半期の売上高は、ウイルスシーズンでなかったこともあり 500 万ドルでした。米国以外の第 3 四半期の売上は、9%減の 9,100 万ドルでした。これは、第 2 四半期の 26%増と同様に、当社の国際代理店アボット社への四半期ごとの出荷調整を反映したためです。
- Merrem の 9 ヶ月累積の売上は、多くの市場で後発品が競合した結果、34%減の 2 億 9,000 万ドルでした。
- FluMist の第 3 四半期の売上は 1 億 4,500 万ドルで、そのうち 1 億 4,100 万ドルが米国、400 万ドルが米国以外の売上高でした。

地域別売上高

	第 3 四半期		同期比 (%)		9 ヶ月累積業績		同期比 (%)	
	2012 年	2011 年			2012 年	2011 年		
	100 万ドル	100 万ドル	実質	CER	100 万ドル	100 万ドル	実質	CER
US	2,573	3,187	-19	-19	7,832	9,783	-20	-20
西ヨーロッパ ¹	1,461	2,067	-29	-20	4,862	6,496	-25	-20
ROW の既成市場 ²	1,211	1,504	-19	-18	3,733	4,301	-13	-13
カナダ	218	401	-46	-43	881	1,241	-29	-27
日本	723	771	-6	-6	2,044	2,138	-4	-6
その他の ROW の既成	270	332	-19	-16	808	922	-12	-12
ROW の新興市場 ³	1,437	1,455	-1	+6	4,264	4,355	-2	+3
ヨーロッパの新興市場	264	291	-9	+4	841	927	-9	+1
中国	399	322	+24	+23	1,128	947	+19	+16
アジア太平洋の新興市場	226	248	-9	-4	688	732	-6	-3
	548	594	-8	+3	1,607	1,749	-8	-1
合計	6,682	8,213	-19	-15	20,691	24,935	-17	-15

¹ 西ヨーロッパを構成するのは、フランス、ドイツ、イタリア、スウェーデン、スペイン、英国などです。

² ROW (米国・西ヨーロッパ以外の地域) の既成市場を構成するのは、カナダ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドです。

³ ROW の新興市場を構成するのは、ブラジル、中国、インド、メキシコ、ロシア、トルコ、およびその他すべての ROW 諸国です。

- 米国の第 3 四半期の売上は 19%減で、主にセロクエル IR の独占権喪失によるものです。シムビコート、ONGLYZATM、およびフェソロデックスは順調に成長しましたが、アストラテックならびに Aptium の売却により一部相殺されました。ブリストル・マイヤーズスクイブ社との糖尿病関連アライアンスの拡大に伴う手続きが完了したことによる Amylin 社の糖尿病製品の追加も、第 3 四半期の売上高に寄与しました。
- 西ヨーロッパの第 3 四半期の売上は 20%減でした。セロクエル IR の独占権を喪失したことに加え、ネキシウム、Atacand、Merrem の後発品との競合がさらに売上を減少させました。これら 4 製品は、当四半期の売上減少の 70%以上を占めています。Brilique、クレストール、ONGLYZATM、イレッサでは売上が増加しました。
- 米国、西ヨーロッパ以外の既成市場での第 3 四半期の売上は 18%減でした。カナダの売上は 43%減で、これは主に、以前開示した特許訴訟の和解により、4 月にカナダ市場に参入したクレストールの後発品との競合が発生したためです。日本の売上は 6%減で、これは主に、前年同期の発売在庫の売上と比較してネキシウムの売上が減少したことを反映したものです。
- 新興市場の第 3 四半期の売上は 6%増でした。中国とロシアの売上は 23%増加しました。ブラジルの売上は、クレストールとセロクエル IR の独占権喪失による影響がなくなったことにより、5%増でした。メキシコで厳しい市場状況から低調な業績が続いたことにより、新興市場の売上成長率は 2 ポイント以上減少しました。

要約連結包括利益計算書

9月30日までの9ヵ月間累積	2012年 100万ドル	2011年 100万ドル
売上高	20,691	24,935
売上原価	(3,995)	(4,414)
売上総利益	16,696	20,521
物流費	(241)	(261)
研究開発費	(3,923)	(3,656)
販売・一般管理費	(7,170)	(8,020)
その他営業損益	822	2,044
営業利益	6,184	10,628
金融収益	390	426
金融費用	(710)	(739)
税引前利益	5,864	10,315
税金	(1,071)	(1,792)
当期利益	4,793	8,523
その他の包括利益：		
連結に伴う為替換算損益	215	21
純投資ヘッジを形成する借入金における為替差損益	(25)	(25)
キャッシュフローヘッジの損失の償却	1	2
売却可能有価証券評価利益（損失）	39	(5)
年金数理による当期損失	(212)	(53)
その他の包括利益に係る法人所得税	(4)	4
当期包括利益（税引後）	14	(56)
当期包括利益合計	4,807	8,467
当期利益の帰属：		
親会社の所有者	4,776	8,497
非支配持分	17	26
	4,793	8,523
包括利益合計の帰属：		
親会社の所有者	4,792	8,429
非支配持分	15	38
	4,807	8,467
額面0.25ドル普通株式1株当たり利益	\$3.77	\$6.17
希薄化後額面0.25ドル普通株式1株当たり利益	\$3.76	\$6.14
加重平均発行済普通株式数（百万株）	1,266	1,377
希薄化後加重平均発行済普通株式数（百万株）	1,269	1,383

要約連結包括利益計算書

9月30日までの第三四半期	2012年 100万ドル	2011年 100万ドル
売上高	6,682	8,213
売上原価	(1,274)	(1,593)
売上総利益	5,408	6,620
物流費	(90)	(93)
研究開発費	(1,204)	(1,296)
販売・一般管理費	(2,359)	(2,644)
その他営業損益	401	1,675
営業利益	2,156	4,262
金融収益	129	153
金融費用	(237)	(246)
税引前利益	2,048	4,169
税金	(515)	(684)
当期利益	1,533	3,485
その他の包括利益：		
連結に伴う為替換算損益	195	(225)
純投資ヘッジを形成する借入金における為替差損益	(45)	88
キャッシュフローヘッジの損失の償却	-	1
売却可能有価証券評価利益（損失）	32	(23)
年金数理による当期利益（損失）	137	(209)
その他の包括利益に係る法人所得税	(44)	10
当期包括利益（税引後）	275	(358)
当期包括利益合計	1,808	3,127
当期利益の帰属：		
親会社の所有者	1,525	3,477
非支配持分	8	8
	1,533	3,485
包括利益合計の帰属：		
親会社の所有者	1,797	3,111
非支配持分	11	16
	1,808	3,127
額面 0.25 ドル普通株式 1 株当たり利益	\$1.22	\$2.56
希薄化後額面 0.25 ドル普通株式 1 株当たり利益	\$1.21	\$2.54
加重平均発行済普通株式数（百万株）	1,250	1,354
希薄化後加重平均発行済普通株式数（百万株）	1,252	1,359

要約連結財政状態計算書

	2012年9 月30日現在 100万ドル	2011年12 月31日現在 100万ドル	2011年9 月30日現在 100万ドル
資産			
100万ドル非流動資産			
有形固定資産	6,094	6,425	6,526
営業権	9,898	9,862	9,874
非流動資産	16,677	10,980	11,661
金融派生商品	330	342	355
その他の投資	172	201	207
繰延税金資産	1,248	1,514	1,486
	34,419	29,324	30,109
その他流動資産			
棚卸資産	2,090	1,852	1,955
売掛金およびその他の債権	8,001	8,754	8,308
その他の投資	799	4,248	924
金融派生商品	-	25	29
未収法人所得税	1,122	1,056	1,391
金融派生商品 現金および現金同等物	6,017	7,571	9,860
	18,029	23,506	22,467
資産合計	52,448	52,830	52,576
負債			
流動資産 流動負債			
有利子負債・借入金	(1,566)	(1,990)	(2,055)
買掛金およびその他の債務	(8,629)	(8,975)	(8,028)
金融派生商品	(1)	(9)	-
引当金	(1,005)	(1,388)	(1,083)
未払法人所得税	(2,927)	(3,390)	(3,491)
	(14,128)	(15,752)	(14,657)
非流動負債			
有利子負債・借入金	(9,347)	(7,338)	(7,394)
繰延税金負債	(2,622)	(2,735)	(2,923)
退職給付債務	(2,484)	(2,674)	(2,388)
引当金	(442)	(474)	(555)
その他の債務	(1,164)	(385)	(505)
	(16,059)	(13,606)	(13,765)
負債合計	(30,187)	(29,358)	(28,422)
純資産	22,261	23,472	24,154
資本			
親会社の所有者に帰属する資本金および準備金			
資本金	312	323	332
株式払込剰余金	3,437	3,078	3,048
その他の積立金	1,955	1,951	1,937
利益剰余金	16,334	17,894	18,614
	22,038	23,246	23,931
非支配持分	223	226	223
資本合計	22,261	23,472	24,154

要約連結キャッシュ・フロー計算書

9月30日までの9ヵ月間累積	2012年 100万ドル	2011年 100万ドル
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	5,864	10,315
金融収益および費用	320	313
減価償却費、償却費および減損損失	1,754	1,580
運転資本および短期引当金の増加	(957)	(1,528)
非現金その他の変動 ¹	(388)	(1,806)
営業活動から得られたキャッシュ	6,593	8,874
支払利息	(477)	(467)
支払税金	(2,016)	(3,655)
営業活動による正味キャッシュ・フロー	4,100	4,752
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期投資および固定性預金の変動	3,631	542
有形固定資産の取得	(422)	(593)
有形固定資産の売却	159	56
無形固定資産の取得	(3,633)	(326)
非流動投資の取得	(10)	(8)
非流動投資の売却	25	-
事業活動の買収	(1,187)	-
子会社の売却により得られた正味現金	-	1,772
受取利息	112	131
子会社による非支配持分に対する支払	(20)	(16)
投資活動による正味キャッシュ・インフロー/ (アウトフロー)	(1,345)	1,558
財務活動前の正味キャッシュ・インフロー	2,755	6,310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	362	378
自社株式の取得による支出	(2,635)	(4,256)
借入金の発行	1,980	-
借入金の払戻し	(1,750)	-
支払配当金	(3,665)	(3,764)
金融派生商品の変動	48	3
短期借入金の変動	1,262	(1)
財務活動による正味キャッシュ・アウトフロー	(4,398)	(7,640)
当期現金および現金同等物の正味減少額	(1,643)	(1,330)
現金および現金同等物期首残高	7,434	10,981
為替変動による影響	10	(30)
現金および現金同等物期末残高	5,801	9,621
現金および現金同等物の内訳：		
金融派生商品 現金および現金同等物	6,017	9,860
当座貸越	(216)	(239)
	5,801	9,621

¹ 2011年の非現金その他の変動には、アストラテックの売却による利益が含まれています。

要約連結持分変動計算書

	資本金 100 万ドル	株式払込 剰余金 100万ド ル	その他の 積立金* 100万ド ル	利益 剰余金 100万ドル	合計 100万 ドル	非支配 持分 100万ドル	資本合計 100万ドル
2011年1月1日現在	352	2,672	1,917	18,272	23,213	197	23,410
当期利益	-	-	-	8,497	8,497	26	8,523
その他の包括利益	-	-	-	(68)	(68)	12	(56)
その他の積立金*への振替	-	-	(2)	2	-	-	-
所有者との取引:							
配当金	-	-	-	(3,752)	(3,752)	-	(3,752)
普通株式の発行	2	376	-	-	378	-	378
自己株式の取得	(22)	-	22	(4,256)	(4,256)	-	(4,256)
株式報酬	-	-	-	(81)	(81)	-	(81)
非支配持分から支払債務 への振替	-	-	-	-	-	(8)	(8)
非支配持分に対する配当 金	-	-	-	-	-	(4)	(4)
純変動	(20)	376	20	342	718	26	744
2011年9月30日現在	332	3,048	1,937	18,614	23,931	223	24,154
	資本金 100 万ドル	株式払込 剰余金 100万ド ル	その他の 積立金* 100万ド ル	利益 剰余金 100万ドル	合計 100万 ドル	非支配 持分 100万ドル	資本合計 100万ドル
2012年1月1日現在	323	3,078	1,951	17,894	23,246	226	23,472
当期利益	-	-	-	4,776	4,776	17	4,793
その他の包括利益	-	-	-	16	16	(2)	14
その他の積立金への振替	-	-	(10)	10	-	-	-
所有者との取引:							
配当金	-	-	-	(3,619)	(3,619)	-	(3,619)
普通株式の発行	3	359	-	-	362	-	362
自己株式の取得	(14)	-	14	(2,635)	(2,635)	-	(2,635)
株式報酬	-	-	-	(108)	(108)	-	(108)
非支配持分から支払債務 への振替	-	-	-	-	-	(7)	(7)
非支配持分に対する配当 金	-	-	-	-	-	(11)	(11)
純変動	(11)	359	4	(1,560)	(1,208)	(3)	(1,211)
2012年9月30日現在	312	3,437	1,955	16,334	22,038	223	22,261

* その他の積立金には、資本償還準備金や合併準備金が含まれます。

期中財務諸表の注記

1 表示の基礎および会計方針

2012年9月30日までの上半期の要約連結期中財務諸表（「期中財務諸表」）は、欧州連合によって採択されたIAS34 中間財務報告に従って作成されました。グループの年次財務諸表は、欧州連合によって採択され、国際会計基準審議会によって発行された国際財務報告基準（IFRS）に従って作成されました。金融サービス機構が定めた情報開示と透明性に関する規則に従い、新しいあるいは改訂された会計基準の適用がない限り、期中財務諸表は、すでに発行されている2011年12月31日までの連結財務諸表と同じ会計方針および計算方法を使用して作成されています。今期は、新しいあるいは改訂された会計基準の適用によるグループの利益や純資産への大きな影響はありませんでした。

グループは多くの財源を保有しています。グループの収入は、主に、特許で保護されている製品や、少なくともこれまでは需要が経済変動の影響を受けにくかった製品の売上高から生じています。結果的に、取締役会は、グループがそのビジネスリスクを成功裡に管理する十分な体制にあり、期中財務諸表は継続企業の前提で作成されています。

注記7に含まれる情報は、グループのアンニュアルレポートおよび2011年米国証券取引委員会（SEC）への提出書類20-Fに記載された法的手続きと偶発債務に関する開示情報を更新するものです。

2011年12月31日までの会計年度の比較数値は、当社の会計年度の法定計算書類ではありません。これらの計算書類は、グループの監査人によって報告され、株式登録機関に提供されました。監査人の報告は、(i) 無限定適正であり、(ii) 監査人が報告に限定を加えることなく強調して注意を促したい事項はなく、(iii) 2006年会社法の498節(2)または(3)の規定に該当する事項を含まないものでした。

2 正味負債

以下の表では、正味負債を分析し、正味負債の変動に応じて正味キャッシュ・フローを調整しています。

	2012年1月1日現在 100万ドル	キャッシュ・フロー -100万ドル	買収100万ドル	非現金変動 100万ドル	為替変動 100万ドル	2012年9月30日現在 100万ドル
1年超返済予定長期借入金	(7,338)	(1,980)	-	(3)	(26)	(9,347)
1年内返済予定長期借入金	(1,769)	1,750	-	19	-	-
借入金合計	(9,107)	(230)	-	16	(26)	(9,347)
その他の投資-短期	4,248	(3,631)	102	54	26	799
正味金融派生商品	358	(48)	-	19	-	329
現金および現金同等物	7,571	(1,566)	-	-	12	6,017
当座貸越	(137)	(77)	-	-	(2)	(216)
短期借入金	(84)	(1,262)	-	-	(4)	(1,350)
	11,956	(6,584)	102	73	32	5,579
正味資金（負債）	2,849	(6,814)	102	89	6	(3,768)

当期の非現金変動には、IAS 39に規定された公正価値調整が含まれます。

3 事業再構築費用

2012年9月30日までの9ヵ月累積の税引前利益は、11億6,700万ドルの事業再構築費用（前年同期は5億200万ドル）を含めて計上されています。以下の項目にて、利益から控除されています。

	第3四半期 2012年100万ドル	第3四半期 2011年100万ドル	9ヵ月 2012年100万ドル	9ヵ月 2011年100万ドル
売上原価	14	(14)	75	18
研究開発費	116	124	697	293
販売・一般管理費	123	111	388	191
合計	253	221	1,160	502

4 ブリストル・マイヤーズスクイブとの Amylin 製品に関する提携

2012年8月8日、ブリストル・マイヤーズスクイブ社は Amylin Pharmaceuticals 社の買収を完了し、同日よりアストラゼネカとブリストル・マイヤーズスクイブ社の両社は、既存の糖尿病領域における提携の枠組みに基づき、Amylin 社の製品ポートフォリオの開発および販売に関する提携契約を締結しました。この提携のもと、両社は共同で全世界での提携製品の営業・販売活動を行います。ブリストル・マイヤーズスクイブ社が全ての製品を製造し、アストラゼネカは提携製品を原価で受け取ります。提携から生じる損益は、均等に配分します。

この提携において、アストラゼネカは、2012年第3四半期にブリストル・マイヤーズスクイブ社に対し37億ドルを支払いましたが、この費用については2012年第4四半期に最終調整が行われます。さらに、アストラゼネカは、今後更に1億3,500万ドルをブリストル・マイヤーズスクイブ社に支払うことにより、本提携に関する主要戦略と財務上の決定に関する同等の支配権を確立することができる、自己裁量で行使可能なオプションを有しています。反トラスト法関連の承認を取得次第、2012年の第4四半期または2013年第1四半期にこのオプションを行使し、支払いを行う見込みです。予想されるアストラゼネカの支払額は合計38億ドルとなる見通しです。

アストラゼネカのブリストル・マイヤーズスクイブ社への支払いは、主に提携製品に関する34億ドル相当の無形資産の購入により発生したものです。これら製品には、米国とヨーロッパで承認されている BYETTA® (エキセナチド) 注射剤および BYDUREON® (エキセナチド徐放性注射用懸濁液/エキセナチド持続性注射用懸濁液用 2 mg 散剤および溶剤)、米国で承認されている SYMLIN® (プラムリンチド酢酸塩) 注射剤、希少な遺伝的または後天的リポジストロフィー患者における糖尿病や高トリグリセリド血症の治療薬として米国食品医薬品局 (FDA) で審査中のレプチンアナログである metreleptin があります。

残りの4億ドルは、提携製品の費用にかかる一部に関して事前に支払ったもので、支払いが行われていない場合、契約期間中にアストラゼネカに対し請求される費用です。この費用は前払い金と認識されています。

アストラゼネカは、上記のような主要戦略と財務上の決定に関する共同支配権を認めるオプションは、この提携の成功に最も関係するものと考えています。故に、この提携はアストラゼネカにとって IAS 第 31 号「ジョイント・ベンチャーに対する持分」に基づいた共同管理営業であり、グループが IFRS11 を適用した際は、IFRS 第 11 号「ジョイント・アレンジメント」に基づいて会計処理を行います。従って、グループは、2012年8月9日より、提携から生じる売上と費用の50%を損益計算書に計上します。

5 Ardea 社の買収

2012年6月19日、アストラゼネカは Ardea Biosciences 社の買収を完了しました。Ardea 社は米国 (カリフォルニア州サンディエゴ) に本社を持つバイオテクノロジー企業で、主に重篤な疾病の治療に向けた低分子化合物の開発を行っています。アストラゼネカは12億6,800万ドルで100%の Ardea 株を取得しました。

ほとんどの事業買収には、買収した識別可能資産および負債の決算期に属さない費用の一部があり、のれんとして認識されます。Ardea 社の買収では、個別には定量化できない多くの要素によってのれんが構成されています。これらのうち最も重要なものは、熟練した従業員と痛風領域で積み上げた経験に帰するプレミアムです。

Ardea 社の業績は、2012年6月20日から当社の業績に連結されています。買収から2012年9月30日までの期間における Ardea 社の売上高は軽微で、純損失は3,200万ドルでした。2012年9月30日までの9カ月間における Ardea 社の売上高は1,100万ドル、純損失は1億1,200万ドルでした。

	帳簿価 額 100 万ドル	公正価値調 整 100 万ド ル	公正価 値 100 万ドル
非流動資産			
無形固定資産	-	1,464	1,464
その他	4	-	4
	4	1,464	1,468
その他	199	-	199
流動資産 流動負債	(31)	(1)	(32)
非流動負債			
繰延税金負債	-	(397)	(397)
	-	(397)	(397)
買収した総資産	172	1,066	1,238
営業権			30
買収金額の公正価値			1,268
差引額：現金取得額			(81)
キャッシュ・アウトフロー			1,187

6 メルク社との契約の会計への影響

1982年、アストラ AB社は、米国でのアストラ社製品の営業、販売、流通を目的として、メルク社（シェリング・プラウ社との合併によって新生メルク社の子会社となったメルク・シャープ&ドーム社）（以下「メルク社」と称する）との合併企業を設立しました。1998年、この合併企業は再編されました（以下「事業再編」と称する）。事業再編に関連する契約（以下「契約」と称する）に基づき、メルク社を有限責任組員、アストラゼネカを無限責任組員とする米国限定の提携（以下「提携」と称する）が組織され、アストラゼネカは特定の有限責任組員に属する合併企業の事業とメルク社およびその関連会社が保有するその他の権利を獲得しました。これらの権利により、メルク社に提携の業務に対するセーフガードがもたらされ、アストラゼネカの商業的な営業の自由が制限されます。契約では、以下が部分的に規定されます。

- 年間の偶発的対価
- メルク社がアストラゼネカの製品と業務（必須も任意も含む）を譲渡するための解除の取り決め

詳細は、アニュアルレポートおよび2011年米国証券取引委員会（SEC）への提出書類20-Fに示されています。

2008年度のメルク社への支払い

以前に開示した通り、2008年3月17日、アストラゼネカは、一部引き取り、調整、受取手形に関連して約26億ドルの正味現金払いを行いました。この支払いにより、アストラゼネカは、特定のアストラゼネカ製品（パルミコート、Rhinocort、シムビコート、Toprol-XLを含む）におけるメルク社の持分を取得し、これらの製品に関するアストラゼネカの偶発的対価の支払いを中止し、これらの製品と呼吸器治療領域のその他の機会を利用できるようになりました。その時点で、第1オプションと第2オプション（以下を参照）に関連する将来的な製品の権利に対する支払いに相当する正味支払いの残高（16億5,600万ドル）と共に、9億9,400万ドルの無形資産が認識されました。これらの「払い戻し不可の保証金」は、無形資産として分類されました。

第1オプション

以前に開示した通り、2010年2月26日、アストラゼネカは第1オプションを行使しました。2010年4月30日、メルク社に6億4,700万ドルが支払われました。この支払いにより、アストラゼネカは、第1オプションに含まれる製品（Entocort、Atacand、Plendilなど）、フェロジピンの自社後発品、および当時開発中であった製品（主にBrilintaとlesogaberan）におけるメルク社の持分を取得しました。2010年4月30日、この日以降の期間に関して、これらの製品（フェロジピンの自社後発品を除く）に対する偶発的対価が中止され、アストラゼネカは、これらの製品と呼吸器およびニューロサイエンス治療領域のその他の機会を利用できるようになりました。これらの権利は18億2,900万ドルと見積もられ、2010年2月26日から無形資産として認識されています（メルク社への6億4,700万ドルの支払いを補填するため、払い戻し不可の保証金から11億8,200万ドルが移転されました）。残り4億7,400万ドルの払い戻し不可の保証金は、アストラゼネカが第2オプションを行使した時点で確保される利益に関連するものです。（フェロジピンの自社後発品に対する偶発的対価は、アストラゼネカの第三者販売協定が終了するまで続きます。この協定は2012年6月に終了しましたが、販売代理店は在庫を販売することができます）。

第2オプション

2012年6月26日、アストラゼネカとメルク社は、第2オプションに関して、特定の契約条項を修正することで合意しました。アストラゼネカは、この修正によって第2オプションの評価額の確度が向上し、以前の取り決めよりも有利であると考えており、予期せぬ状況が発生しなければ、2014年に第2オプションを行使する予定です。

この修正の最も重要な部分は、アストラゼネカが第2オプションを行使する時期が変更され、オプション行使価格の特定の面を設定するための評価法に関して合意が得られたことです。修正された契約に基づき、メルク社は、2014年3月1日～2014年4月30日に行使でき、2014年6月30日に決算する新しい第2オプションをアストラゼネカに授与しました。アストラゼネカには、2017年または年間合計売上高が最低金額を下回った場合に行使できるオプションも用意されます。

第2オプションの時期が変更されたことに加え、アストラゼネカとメルク社は、2014年のオプション行使価格の特定部分を設定するための評価法について合意に達しました。第三者による評価の代わりに、アストラゼネカとメルク社によるNexiumとPrilosec（オメプラール）の売上高予測の共通見解に基づき、2014年の行使の評価額は合計3億2,700万ドルに固定されます。合意された金額は2014年6月30日に支払われ、2018年に調整され、2014年の決算から2018年6月までの期間に関する実際の売上高によって共通の予測が置き換えられます。

さらに、第2オプションの行使価格には、行使までの3年間におけるメルク社の平均1%の提携における年間利益配分の10倍に相当する金額も含まれます。アストラゼネカは、この金額を約8,000万ドルと予想しています。

Vimovoの将来の米国売上高の最大5%に相当する正味現在価値を含み、まだ達成されていない年間売上高のしきい値とオプションを行使する時期によって正確な金額が決まる第2オプションの行使価格の構成部分は続きます。

修正に基づき、アストラゼネカが2014年に行使した場合、NexiumとPrilosec（オメプラール）を製造するメルク社の既存の権利は決算の時点で喪失されます。

修正に関連して、メルク社は、Nexiumに関する特定の商業的機会を利用する柔軟性をアストラゼネカに認めました。

会計上、アストラゼネカは、第2オプションの行使が実質的に確実であり、もはやオプションとは言えないと見なしています。この会計上の重要な判断は、予期せぬ状況が発生しなければ、アストラゼネカは2014年に第2オプションを行使するつもりであり、第2オプションの価格はかなり有利であり、アストラゼネカが2014年に行使するための経済的な

動機が生じるという経営陣の見解によって裏付けられます。そのため、アストラゼネカは、行使日を2012年6月26日（契約の修正日）として第2オプションを反映させる会計処理を適用しています。その結果、メルク社に約14億ドルの負債が生じ（そのうち10億ドルを2012年7月1日～2014年6月30日に月間の偶発対価によって支払い、残りを2014年6月30日に一括で支払う）、その日から無形資産が相応して増加します。

これらの無形資産は、第1オプションから繰り越された4億7,400万ドルに追加され、全体として、胃腸治療領域の機会を利用する能力の価値と偶発的対価からの解放を反映します。

2012年6月26日から無形資産の償却が開始されました。これにより、2012年第3四半期と第4四半期の総利益率は上昇するものの、年間約1億4,000万ドルの追加費用が販売・一般管理費に発生し、置き換える偶発的対価に広く相当する償却費が売上原価に発生します。アストラゼネカは、現在、中核財務指標の計算から販売・一般管理費に発生する償却費のみを除外するため、これらの出来事によって中核財務指標にはわずかな影響しか生じません。2013年第1四半期から使用される中核財務指標の定義へのグループの変更に関する最新情報は、6ページをご覧ください。

取得した製品の権利に関連する無形資産は、減損の査定を受け、製品から撤退するか、または影響を受ける治療領域の業務が大幅に削減された場合には、部分的または全面的に減損されます。

7 法的手続きと偶発債務

アストラゼネカは、製造物責任、商事紛争、知的財産権の侵害、特定特許の有効性、反トラスト法、営業・販売活動に関連する訴訟や調査など、業務上一般的と見なされるさまざまな法的手続きに関与しています。以下の項目は、当社のアニュアルレポートおよび2011年米国証券取引委員会（SEC）への提出書類20-Fにおける法的手続きの開示と2012年6月30日までの上半期財務報告書に含まれる2012年度中間経営報告書（合わせて「開示」）以降の重要な進展です。以下または開示で特に指摘されていない限り、以下の申し立てに関しては引当金を設定していません。

アニュアルレポートおよび2011年米国証券取引委員会（SEC）への提出書類20-Fで説明している通り、アストラゼネカが関係する申し立ての大部分では、手続きの最終的解決によって生じる財務的影響を妥当に見積もることはできません。これらの訴訟では、アストラゼネカは、訴訟の性質と事実に関する情報のみを開示し、引当金は設定しません。

訴訟が解決または裁定されるか、定量化できる罰金や処罰が決定されて上訴が行われぬか、予想される損害を妥当に見積もることができる場合は、損失を記録するか、引当金を設定して予想される損害をできる限り見積もります。

状況に応じて立場が変わるため、これらの引当金を計算する際に使用した見積もりは本質的に不正確です。したがって、法的手続きの結果によって生じる損害が計上された引当金を超えないという保証はありません。このような不確実性の原因となる主な要素については、アニュアルレポートおよび2011年米国証券取引委員会（SEC）への提出書類20-Fおよび本書で詳細に説明しています。

アストラゼネカは、知的財産権を全面的に信頼し、積極的に防衛および強化しています。

2012年第3四半期および2012年10月に関して開示された項目

特許/薬事訴訟

クレストール（ロスバスタチンカルシウム）

米国内での特許訴訟

以前に開示した通り、アストラゼネカは、デラウェア地区連邦地方裁判所において、セクション505(b)(2)に基づき、ロスバスタチン亜鉛錠のNDAおよびその他クレストール錠の特許侵害に対応し、特許訴訟を開始しました。被告のWatson Laboratories, Inc (NV)とEgis Pharmaceuticals PLCは、クレストールの物質特許の無効と、特許を侵害していないとする申し立てを行いました。裁判は2012年12月12日に始まりです。

ネキシウム（エソメプラゾールマグネシウム）

米国内での特許訴訟

2011年に開示した通り、アストラゼネカは、Hanmi USA Incほか（以下「Hanmi社」と称する）がエソメプラゾールストロンチウム20mgおよび40mgのFDA販売承認を取得するための、セクション505(b)(2)に基づくNDAの申請に対して、米国ニュージャージー州地方裁判所でHanmi社を相手取って特許訴訟を開始しました。2011年、Hanmi社は、5件の略式判決請求を提出しました。2012年6月と8月に、裁判所は、Hanmi社の5件全ての請求を棄却しました。

米国外での特許訴訟

2012年10月11日、カナダにおいて、連邦裁判所は、Pharmascience Inc. (PMS社)に対し、2018年5月までエソメプラゾールマグネシウム製品の販売承認取得を禁止しました。

Pulmicort Respules（ブデソニド吸入用懸濁液）

アストラゼネカの米国特許の侵害に対する後発品企業を相手取った一連の特許侵害訴訟は、パルミコート吸入液の有効成分における使用法と剤形を対象にしており、裁判は、2012年11月7日にニュージャージー連邦地方裁判所で始まる予定です。

セロクエル（クエチアピソールマール酸塩）およびセロクエルXR（クエチアピソールマール酸塩）

米国内での薬事訴訟

以前に開示した通り、2012年6月28日、コロンビア特別区地方裁判所は、セロクエル XRの独占権の発行に関するアストラゼネカの略式判決交差申立を却下し、FDAの略式判決交差申立を認めました。2012年7月、アストラゼネカは、コロンビア特別区連邦巡回控訴裁判所に上告しました。

米国内での特許訴訟

2012年7月、アストラゼネカは、一定の条件下で2016年11月1日まで有効な、セロクエル XRの製品特許に対するライセンスを取得することを条件に、Intellipharmaeueutics Corp.および Intellipharmaeueutics International Inc. (Intellipharmaeueutics 社と総称)との特許侵害訴訟において和解しました。ニューヨーク南部連邦地方裁判所でのIntellipharmaeueuticsに対する係争中の特許侵害訴訟を取り下げました。

2012年7月、アストラゼネカは、Amneal Pharmaceuticals, LLCから、Seroquel XRに関するパラグラフ IV通知書を受け取りました。2012年8月、アストラゼネカは、ニュージャージー連邦地方裁判所にAmnealと、関連のAmneal企業に対し特許侵害訴訟を提起しました。

2012年9月、アストラゼネカは、Lupin Ltd.から、Seroquel XRに関するパラグラフ IV通知書を受け取りました。アストラゼネカは現在、申し立てを検討しています。

米国外での特許訴訟

2012年9月、ドイツにおいて、デュッセルドルフ地方裁判所は、Heumann Pharma GmbH & Co, Heumann Verwaltungs GmbH, Ratiopharm GmbH, CT Arzneimittel GmbHおよび AbZ Pharma GmbHに対する仮差し止めを確認しました。

アストラゼネカは、セロクエル XRの特許を確信しており、今後も適切な法的措置を講じる予定ですが、それにもかかわらず、このような後発品の発売がイギリス、オーストリアで起こり、裁判所による当社に不利な決定が下される可能性もあります。

製造物責任訴訟

クレストール (ロスバスタチンカルシウム)

アストラゼネカは、カリフォルニア州裁判所において、クレストールを用いた治療による障害を訴える合計245人の原告が関係する14件の訴訟を争っています。訴訟では、複数の型の真性糖尿病、さまざまな心外傷、横紋筋融解、肝臓および腎臓損傷が申し立てられています。2012年8月24日、カリフォルニア州ロサンゼルスにおいて、13件の訴訟を1件の訴訟に統合しました。

商事訴訟

自己負担補助金訴訟

以前に開示した通り、2012年3月、New England Carpenters Health and Welfare Fundは、アストラゼネカが消費者の自己負担義務に補助金を提供するネキシウムおよびクレストールの処方に関して消費者に償還を行う保険支払者に代わって、ペンシルベニア東部連邦地方裁判所にアストラゼネカに対する訴訟を提起しました。2012年9月5日、原告は、アストラゼネカに対し新しく訴訟を提起する権利を保有したまま、アストラゼネカに対する訴訟を自主的に取り下げました。

ネキシウム (エソメプラゾールマグネシウム)

以前に開示した通り、アストラゼネカは、マサチューセッツ州裁判所において、消費者と第三者支払者の代表より、ネキシウムの販売表示が不当であるとする申し立てを受けました。2012年9月28日、アストラゼネカは申し立てを解決する基本合意に達し、和解条項が決められました。

平均卸売価格に関する訴訟

以前に開示した通り、2009年の裁判に続き、ケンタッキー州の陪審員は、ケンタッキー州消費者保護およびメディケイド違反条例に基づきアストラゼネカの責任を認め、アストラゼネカに対し1,472万ドルの補償的損害賠償と100ドルの懲罰的損害賠償を請求する裁定を下しました。裁判では、さらに540億ドルが法定罰金として追加されました。

2012年10月12日、ケンタッキー州控訴裁判所は、地方裁判所での判決を一転し、アストラゼネカには賠償金を支払う責任はないとしました。控訴裁判所は、訴訟を下級審に差し戻す、アストラゼネカに有利な決定を下しました。

医薬品の輸入と反トラスト法

以前に開示した通り、2004年8月、Californian retail pharmacyの原告団は、カリフォルニア州上級司法裁判所に、アストラゼネカおよびその他約15社の製薬企業に対し、カリフォルニア州で販売されている医薬品の価格を、カナダでの販売価格と同値あるいは上回る価格に設定し、米国への医薬品輸入を制限する画策を行っているとして申し立てる訴訟を提起しました。2011年3月、カリフォルニア州上級司法裁判所は、被告側の略式判決請求を認めました。2012年8月、カリフォルニア州控訴裁判所は上級司法裁判所の決定を確認しました。2012年9月、原告団は再審理を申し立てましたが、却下されました。2012年10月、原告団はカリフォルニア州上級司法裁判所による再審理を求める申し立てを行いました。

ネキシウムの和解に関する反トラスト法訴訟

2012年8月24日より、アストラゼネカに対し、アストラゼネカのネキシウムに関する特許訴訟の和解は、米国の反

トラス法および多くの州法に違反すると申し立てる、多数の類似した集団訴訟が提起されました。原告団は、損害賠償と差し止めによる救済を求めています。

8 9ヵ月累積の製品売上に関する分析

	全世界			US			西ヨーロッパ			ROWの既成市場			ROWの新興市場		
	2012年 9ヵ月累積 100万ドル	前年 同期比 %	CER %	2012年 9ヵ月累積 100万ドル	前年 同期比 %	CER %	2012年 9ヵ月累積 100万ドル	前年 同期比 %	CER %	2012年 9ヵ月累積 100万ドル	前年 同期比 %	CER %	2012年 9ヵ月累積 100万ドル	前年 同期比 %	CER %
消化器															
ネキシウム	2,897	(14)	(12)	1,675	(6)		325	(47)	(43)	329	(19)	(18)	568	3	
Losec/Prilosec (オメプラール)	554	(21)	(19)	25	(17)		156	(16)	(9)	239	(24)	(25)	134	(20)	()
その他	146	30	33	108	61		28	(20)	(14)	5	(17)	(17)	5	25	
消化器合計	3,597	(14)	(12)	1,808	(4)		509	(39)	(34)	573	(21)	(21)	707	(3)	
循環器															
クレストール	4,631	(5)	(2)	2,302	3		869	(6)	3	966	(19)	(19)	494	(2)	
Atacand	807	(27)	(23)	118	(15)		359	(34)	(30)	109	(37)	(36)	221	(9)	
セロケン/Toprol-XL	662	(12)	(9)	222	(30)		51	(19)	(13)	23	(18)	(18)	366	6	
Tenormin	173	(14)	(11)	8	(11)		38	(16)	(9)	77	(15)	(16)	50	(12)	
Plendil	189	(4)	(5)	4	(43)		14	(22)	(17)	9	(10)	(10)	162	1	
ONGLYZA™	235	68	68	174	69		33	38	38	9	125	125	19	111	1
Brilinta/Brilique	51	219	244	10	(9)		33	n/m	n/m	1	n/m	n/m	7	有意差なし	有意なし
BYETTA®	27	n/m	n/m	27	n/m		-	-	-	-	-	-	-	-	
BYDUREON®	11	有意差なし	有意差なし	11	有意差なし		-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	253	(15)	(10)	12	50		117	(19)	(12)	23	(23)	(23)	101	(13)	
循環器合計	7,039	(7)	(4)	2,888	2		1,514	(14)	(8)	1,217	(21)	(20)	1,420	(1)	
呼吸器															
シムビコート	2,303	-	4	730	21		967	(10)	(4)	294	-	1	312	(7)	
バルミコート	624	(7)	(5)	177	(19)		116	(19)	(13)	88	2	2	243	9	
Rhinocort	128	(21)	(19)	40	(31)		21	(28)	(21)	12	(20)	(20)	55	(8)	
その他	133	(18)	(14)	7	17		69	(17)	(11)	16	(16)	(16)	41	(24)	()
呼吸器合計	3,188	(3)	-	954	8		1,173	(12)	(5)	410	(1)	-	651	(3)	
オンコロジー															
ゾラデックス	822	(7)	(4)	19	(39)		167	(16)	(12)	328	(8)	(9)	308	5	
アリミデックス	421	(29)	(27)	17	(54)		100	(53)	(50)	209	(7)	(8)	95	(17)	()
イレッサ	451	11	13	-	(100)		105	13	23	158	10	8	188	13	
カソデックス	342	(16)	(15)	(3)	n/m		40	(37)	(32)	224	(15)	(16)	81	(4)	
フェソロデックス	479	21	25	227	18		137	(4)	5	42	n/m	n/m	73	18	
その他	98	15	16	19	138		12	33	44	46	-	(2)	21	(5)	
オンコロジー合計	2,613	(6)	(3)	279	4		561	(22)	(16)	1,007	(3)	(4)	766	3	
ニューロサイエンス															
セロクエル IR	1,200	(62)	(62)	709	(71)		197	(53)	(50)	162	(2)	(3)	132	(24)	()
セロクエル XR	1,127	3	7	598	6		343	(6)	2	70	6	8	116	18	
局所麻酔	400	(12)	(8)	-	(100)		152	(18)	(11)	151	-	-	97	(10)	
ゾーミッグ	143	(54)	(52)	10	(91)		84	(36)	(31)	40	(23)	(23)	9	(25)	()
Diprivan	218	(4)	(1)	-	(100)		25	(24)	(18)	59	(6)	(6)	134	13	
Vimovo	47	135	145	19	36		13	n/m	n/m	9	125	125	6	有意差なし	有意なし
その他	30	15	23	11	n/m		8	(43)	(36)	1	(50)	(50)	10	11	
ニューロサイエンス合計	3,165	(41)	(39)	1,347	(57)		822	(28)	(23)	492	(2)	(2)	504	(3)	
感染症・その他															

Synagis	535	(5)	(5)	308	-	227	(11)	(11)	-	-	-	-	-
Merrem	290	(38)	(34)	19	(42)	50	(67)	(64)	16	(65)	(65)	205	(14)
FluMist	149	17	17	145	14	2	n/m	n/m	2	n/m	n/m	-	-
その他	70	(31)	(30)	39	(32)	4	(50)	(38)	16	14	36	11	(50)
感染症・その他合計	1,044	(17)	(16)	511	(3)	283	(32)	(30)	34	(43)	(38)	216	(17)
Aptium Oncology	45	(73)	(73)	45	(73)	-	-	-	-	-	-	-	-
アストラテック	-	(100)	(100)	-	(100)	-	(100)	(100)	-	(100)	(100)	-	(100)
合計	20,691	(17)	(15)	7,832	(20)	4,862	(25)	(20)	3,733	(13)	(13)	4,264	(2)

9 第3四半期の製品売上高に関する分析

	全世界			US			西ヨーロッパ			ROWの既成市場			ROWの新興市場		
	2012年 第3四半期 100万ドル	前年 同期比 %	CER %	2012年 第3四半期 100万ドル	前年 同期比 %		2012年 第3四半期 100万ドル	前年 同期比 %	CER %	2012年 第3四半期 100万ドル	前年 同期比 %	CER %	2012年 第3四半期 100万ドル	前年 同期比 %	CER %
消化器															
ネキシウム	995	(9)	(6)	586	3		92	(44)	(34)	110	(35)	(32)	207	11	
Losec/Prilosec (オメプラール)	189	(16)	(13)	8	(11)		52	(10)	-	80	(22)	(21)	49	(11)	
その他	52	41	46	40	100		10	(23)	(15)	1	(50)	(50)	1	(50)	
消化器合計	1,236	(8)	(5)	634	6		154	(34)	(25)	191	(30)	(28)	257	5	
循環器															
クレストール	1,544	(7)	(3)	833	11		277	(10)	4	272	(37)	(36)	162	(4)	
Atacand	221	(39)	(34)	42	(5)		70	(63)	(57)	33	(35)	(35)	76	(6)	
セロケン/Toprol-XL	230	(16)	(11)	77	(37)		17	(23)	(14)	7	(22)	(22)	129	8	
Tenormin	56	(18)	(12)	2	(33)		12	(20)	(13)	24	(23)	(23)	18	(5)	
Plendil	56	(15)	(14)	1	(67)		4	(33)	(17)	2	(50)	(50)	49	(8)	
ONGLYZA™	84	42	42	62	41		11	22	22	3	50	50	8	100	
Brilinta/Brilique	24	85	100	7	(36)		15	n/m	n/m	1	n/m	n/m	1	有意差なし	有意なし
BYETTA®	27	n/m	n/m	27	n/m		-	-	-	-	-	-	-	-	
BYDUREON®	11	n/m	n/m	11	n/m		-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	86	(12)	(4)	8	167		36	(22)	(11)	6	(33)	(33)	36	(10)	
循環器合計	2,339	(10)	(6)	1,070	9		442	(26)	(15)	348	(35)	(34)	479	(1)	
呼吸器															
シムビコート	785	4	11	264	31		307	(13)	(2)	114	18	21	100	(6)	
パルミコート	191	3	7	61	17		32	(20)	(8)	28	4	7	70	6	
Rhinocort	41	(21)	(17)	9	(40)		5	(38)	(25)	6	-	-	21	(9)	
その他	42	(19)	(12)	2	-		21	(22)	(11)	4	(43)	(43)	15	(6)	
呼吸器合計	1,059	1	8	336	24		365	(14)	(3)	152	11	14	206	(2)	
オンコロジー															
ゾラデックス	274	(10)	(5)	7	(22)		52	(22)	(15)	110	(11)	(11)	105	-	
アリミデックス	130	(26)	(22)	4	(50)		27	(50)	(43)	68	(12)	(12)	31	(16)	
イレッサ	154	6	11	-	(100)		35	3	18	56	12	12	63	5	
カソデックス	111	(19)	(16)	(1)	n/m		12	(33)	(28)	73	(19)	(19)	27	(7)	
フェソロデックス	167	20	28	80	23		45	(12)	2	17	n/m	n/m	25	9	
その他	34	17	21	7	133		5	150	200	17	6	6	5	(38)	
オンコロジー合計	870	(6)	(2)	97	13		176	(22)	(12)	341	(4)	(4)	256	(2)	
ニューロサイエンス															
セロクエル IR	169	(84)	(83)	41	(95)		32	(77)	(73)	52	(7)	(5)	44	(10)	
セロクエル XR	373	2	8	202	10		107	(14)	(1)	24	4	4	40	14	
局所麻酔	128	(14)	(7)	-	(100)		44	(25)	(15)	52	(5)	(4)	32	(6)	
ゾーミッグ	41	(62)	(58)	3	(93)		21	(54)	(48)	14	(18)	(18)	3	(40)	

<i>Diprivan</i>	73	3	10	-	-	7	(30)	(20)	20	(5)	-	46	15	
<i>Vimovo</i>	14	40	50	4	(33)	4	n/m	n/m	3	50	50	3	有意差なし	有意なし
その他	12	71	86	6	n/m	2	(50)	(25)	-	-	-	4	33	
ニューロサイエンス合計	810	(54)	(51)	256	(75)	217	(43)	(35)	165	(5)	(3)	172	3	
感染症・その他														
<i>Synagis</i>	96	(11)	(11)	5	(38)	91	(9)	(9)	-	-	-	-	-	
<i>Merrem</i>	90	(35)	(29)	9	80	13	(67)	(62)	2	(85)	(85)	66	(20)	
<i>FluMist</i>	145	17	17	141	13	2	n/m	n/m	2	n/m	n/m	-	-	
その他	35	21	24	23	77	1	(67)	(33)	10	43	86	1	(83)	(1)
感染症・その他合計	366	(9)	(6)	178	18	107	(25)	(23)	14	(30)	(15)	67	(23)	
Aptium Oncology	2	(96)	(96)	2	(96)	-	-	-	-	-	-	-	-	
アストラテック	-	(100)	(100)	-	(100)	-	(100)	(100)	-	(100)	(100)	-	-	
合計	6,682	(19)	(15)	2,573	(19)	1,461	(29)	(20)	1,211	(19)	(18)	1,437	(1)	

株主情報

発表および総会

2012年第4四半期・通年業績発表	2013年1月31日
2013年第1四半期業績発表	2013年4月25日
年次総会	2013年4月25日
2013年第2四半期・上半期業績発表	2013年8月1日
2013年第3四半期・9カ月累計業績発表	2013年10月31日

配当金

2012年9月10日に支払われた第1回期中配当の基準日は2012年8月10日でした。株式は、2012年8月8日から配当落ちとして取引されました。

2013年3月18日に支払われる2012年度第2回期中配当の基準日は、2013年2月15日になる見込みです。株式は、2013年2月13日から配当落ちとして取引されます。

今後の配当金は、通常、以下の予定により支払われます。

第1回期中配当	7月に発表、9月に支払を実施。
第2回期中配当	1月に発表、3月に支払を実施。

商標

アストラゼネカグループの商標は本文書中、斜体で表示しています。AstraZeneca のロゴ、シンボルはすべて、アストラゼネカグループの商標です。アストラゼネカ以外の他社の商標には、ブリストル・マイヤーズスクイブ社の商標である ONGLYZA™、KOMBIGLYZE™、や KOMBIGLYZE XR™、Amylin Pharmaceuticals, Inc. の商標である BYETTA®、BYDUREON®, SYMLIN®, Forest Laboratories, Inc. 社の商標である TEFLARO®, ZINFORO® など® または™ の表示を付記しております。

連絡先

株式登録および 名義書換事務所	預託銀行	届出事務所	スウェーデン証券集中保管 機関
Equiniti Limited Aspect House Spencer Road Lancing West Sussex BN99 6DA UK	JP Morgan Chase & Co PO Box 64504 St Paul MN 55164-0504 US	2 Kingdom Street London W2 6BD UK	Euroclear Sweden AB PO Box 191 SE-101 23 Stockholm Sweden
電話（英国内通話料無 料）： 0800 389 1580 電話（英国以外）： +44 (0)121 415 7033	電話（米国内通話料無 料）： 888 697 8018 電話（米国以外）： +1 (651) 453 2128	電話： +44 (0)20 7604 8000	電話： +46 (0)8 402 9000

お問い合わせ先

報道機関お問い合わせ先：	Esra Erkal-Paler（ロンドン） Vanessa Rhodes（ロンドン） Tony Jewell（ウィルミントン） Ann-Leena Mikiver（セーデルテリエ） 428836	+44 20 7604 8030 +44 20 7604 8037 +1 302 885 4594 +46 8 553 260 20/+46 707
アナリスト / 投資家向け情報：	James Ward-Lilley（ロンドン） Karl Hård（ロンドン） Nicklas Westerholm（ロンドン） Ed Seage（米国）	+44 20 7604 8122 +44 20 7604 8123 +44 20 7604 8124 +1 302 886 4065

将来予想に関する記述についての警告文

特に米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act 1995）の「セーフハーバー」規定の適用を受けるため、当社は以下の警告文を發します：本期中財務報告書には、グループの事業運営、業績および財政状態にかかわる将来予想に関する記述が一部記載されています。当社では予想は合理的な仮定に基づいていると考えていますが、将来予想に関する記述は、その性質上リスクや不確定要素を伴い、様々な要因の影響を受ける可能性があり、かかる要因によって実際の成果や結果は、予測と大幅に異なったものになる可能性があります。将来予想に関する記述は、期中財務諸表の作成日現在入手可能なデータや情報を反映しており、アストラゼネカがこうした将来予想に関する記述を更新する義務を負うものではありません。将来予想に関する記述の中で当社が使用している言葉として、「期待」「考え」「予想」「意図」などが挙げられますが、それと類似した表現も使用しています。実際の結果が将来予想に関する記述と大幅に異なったものになる重要な要因には、当社にとって不可抗力のものが含まれます。かかる要因として、特に次のことが挙げられます：特許権や独占販売権または商標の喪失ないし満了、特許保護の取得が失敗するリスク、実質的な悪影響を及ぼす訴訟／政府の調査要求および不十分な保険の補償

範囲に関するリスク、為替相場の変動、研究開発の結果商業的成功につながる新製品が開発されないリスク、戦略的提携が不成功に終わるリスク、競争・価格統制・価格下落による影響、課税のリスク、多額の製造物責任請求、サードパーティが材料やサービスを供給できない場合の影響、不適切な危機管理に伴うリスク、新製品の上市が遅れるリスク、製品に対する規制当局の承認を獲得し維持することが困難な状況、規制当局の取り締まりに従わないことのリスク、新製品が期待通りに機能しないリスク、環境に関する法的責任を被ることのリスク、新興市場での事業活動に伴うリスク、評判にダメージを受けるリスク、製品が偽造されるリスク、生産性イニシアチブと事業再構築プログラムを通じて計画したコスト削減措置を順調に実施できないリスク、規制当局によるバイオシミラーの承認プロセスが将来的な商業見通しに悪影響を及ぼすリスク、より厳格な賄賂禁止法および腐敗防止法の実施と執行の増加。